

学力向上に効果のある取組事例

九重町立南山田小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

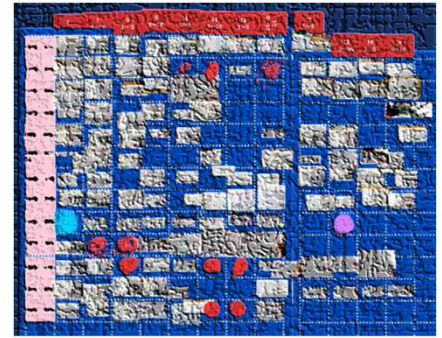
取組の具体①

○進出漢字における自由進度学習

3年生は新出漢字の学習を自由進度で行っている。

- 全体で漢字学習の仕方を確認した後は、児童一人ひとりが自由進度で新出漢字の学習を進める。
※練習の仕方を確認できるように教室に掲示しておく。
- 子どもたちは漢字ドリルを1ページ仕上げたら、担任に提出する。
- 担任はドリルを見て、漢字に間違いがないか・字が枠からはみ出していないか・とめ、はね、はらいに気をつけて書いているか確認する。(レベル1)
- レベル1が合格したら、担任はその1ページにのっている漢字の中から、1つの漢字を取り上げ音読みと訓読みを子どもに伝える。子どもは言われた漢字を筆順通りにそら書きする。(レベル2)
- レベル2まで合格出来たら、次のページのドリルを進める。

※1ページが終わるたびに子どもはそのページを写真にとり、ロイロノートの共有ノートにはりつける。担任は子ども一人ひとりの取り組み状況を確認しながら、必要に応じて子どもに声かけや支援を行った。



かん字練習のしかた

一音読 三回
二指さし 三回
三書きじゅん練習指さし
四ぞうがき 三回
五えんぴつぞり
六えんぴつ書き
七先生に出す

書かれた漢字は
・字の大きさ
・とめ、はね、はらい
まで厳しくチェックします！
※1ページ全て終わったら
提出しましょう。

取組の具体②

○単元末テスト前後の自由進度学習(国語・算数)

3年生は単元末テスト前後に自由進度学習を行っている。

- 単元テスト前は、子どもたちは「①計画」「②テスト」「③分析」「④練習」を個人で行っている。「①計画」では、その時間に何をするか、なぜそれをするのかを「～だから・・・をする」と文章でまとめる。「②テスト」では、教科書の練習問題やドリルの問題を解き、自分で丸つけをする。「③分析」では、間違えた問題について、「なぜ間違えたのか」や「正解するためにはどのように考えればいいのか」を自分の言葉でまとめる。「④練習」では、同じ間違いをしないための練習を自分で考え取りくむ。
- 単元テスト後は、テストの結果をもとにして「分析」「練習」を行う。「分析」ではテストの結果をもとに、+ (良かったところ) と - (わるかったところ) を書く。さらに、→を使ってこれからどうしていくかを文章にしてまとめる。「練習」は単元テスト前と同様に取り組む。
- 自分で学習していて分からないところは担任や友だちに相談してもいい。
- ※担任は子ども一人ひとりの取り組み状況を確認しながら、必要に応じて声かけや支援を行った。

これでバッチリ！ 学びの海のおよぎかた！

- ①けいかく・・・その日の「めあて」を書く
どんなことをどのようにがんばるのか書こう！
「なぜそれをするのか」という理由まで書けたら花マル！
- ②テスト・・・自分でテストをしてみよう！
ドリルで問だいがのっているページを見て、問だいをといてみよう。
もし分からない問だいを見つけたら、おたから発見！
- ③ぶんせき・・・もっとかしくなるためにどうするか考えよう！
書くことが思いつかない時は、その日のテストのかんそうでもオッケー！
「よっしゃ！」や「くやしい！」などの気持ちを書いてみよう
- ④れんしゅう・・・せいちょうの方法が わかればやってみよう！
思いついたことをすくやくやってみよう！

まちがいのしゅるい

読 む	よ①	問だいの意味がわからなかった
	よ②	ちゃんとよんでいなかった
解 く	と①	わからなかった
	と②	わかっていただけでまちがえた
	時	時間切れ